

## 「旧陸軍被服支廠」が全棟保存へ

県は5月19日、被服支廠の「2棟解体・1棟の外観保存」から「3棟耐震化」への方針転換を発表。加害の歴史と被爆の実相を伝える貴重な建物が世論の力で、保存されることになりました。県内外から見直し・撤回を求める訴えや署名が相次いで寄せられ、辻議員も原爆遺跡保存運動懇談会の人たちと、県へ全棟保存を要請。

日本共産党国會議員団も現地視察し、政府要請をしました。



被服支廠の視察=2020年3月15日

こんにちは  
日本共産党

## 辻つねお県議会ニュース

日本共産党県議会議員

辻  
つねお

コロナ禍のもと、さらに猛暑です。  
みなさんお変わりございませんか。

七月二十六日、菅首相が「黒い雨」

訴訟の上告を断念したとの報道を、胸が熱くなる思いで受け止めました。

四十年以上、命がけでたたかって

きた被爆者の運動と世論が、ついに

国の固い姿勢を動かしたのです。

二週間前、広島高裁で地裁判決を

強化する原告全面勝利判決が出され、私は県議会の所管委員会で「県は今

回は上告しない姿勢を貫くべきだ」と要望しました（ウラ面参照）。

高齢化した原告に一日も早く被爆者健康手帳を交付させ、今後は、全ての黒い雨被爆者を幅広く救済するよう求めていきます。

（七月二十七日 記）

生活福祉保健委員会報告

## コロナ対策で辻議員奮闘

辻議員は5月・6月臨時会、6月議会でも、コロナ対策を集中的に議論する生活福祉保健委員会で奮闘。さらに、コロナ対策要望書(第8次)の提出、学生・医療分野の要望書提出に同席しました。

4月19日

### PCR検査拡充が

### 大きな感染抑えた

辻議員は昨年5月から

繰り返しPCR検査の拡

充を要望してきました。

「県が誰でも無料で検査できる体制を作ってきたことと、感染状況との関係を、どのように分析し

ているか」と質問。

担当課長は「早めに検

査を受けられる環境を整えたことで、大きな感染が抑えられた」と答弁しました。

1日最大12万件の検査機器導入を

5月には感染者の急

増でPCR検査が追い付

かず、薬局などの検査を

中断しました。

辻議員は「他県で導入すべきだ」と要求。

担当課長は「興味深い効果など検討したい」と

答えました。

### 人口10万人あたりのPCR検査数

厚労省HP・2020/1/15～2021/7/11の検査人数から試算

	人口(万人)	検査件数(万件)	10万人対	順位
大阪府	884	225	25,479	1
広島県	282	56	19,988	2
東京都	1,383	260	18,843	3
沖縄県	148	25	17,494	4
福岡県	512	85	16,703	5
栃木県	196	31	15,911	6
福島県	188	29	15,445	7
鳥取県	56	8	15,349	8



※広島県の10万人あたりの検査数は、全国2位です。

## 県外から感染持ち込みストップ

夏のPCR

- 夏休み、お盆に県外から帰省を予定している方に、検査キットを送付。検体を郵送してもらって検査。

8月1日～8月31日



PCR検査キット事前送付

駅・空港での検査体制強化

サービスエリアでの検査体制構築

- 山陽自動車道 小谷サービスエリア下り側 その場で検体採取

7月20日～8月31日

夏のPCR広島 検索してみてください

●広島駅北口 ●福山駅前

検査キット配布 7月20日～8月31日

6月10日

## 7月の大雨被害に関する「緊急要望書」提出

日本共産党広島県委員会は7月14日、7月7日からの大雨被害に関する緊急要望書を県知事に提出。大平喜信前衆院議員、辻恒雄県議、谷晴美東広島市議が参加しました。

県内では7日～12日までの大雨で、堤防の決壊による河川氾濫や道路の崩壊、床上床下浸水合わせて約560棟の住宅被害が明らか

かになっています。

大平氏は、三原市の天井川、東広島市の黒瀬川・三津大川の被災地、竹原市の本川・西ノ川の被災地を、地元市議と一緒に現地調査。被災者や役場の声を届けました。

辻議員は「復旧を急ぎ、災害から県民の安全を確保して欲しい」と要望しました。



要望書提出=7月14日

### 無料法律相談

毎月第4金曜日 午後6時30分～  
辻つねお県議に事前にご連絡ください

☎ 090-3632-7388

生活相談はいつでもご連絡ください



## 辻つねお日本共産党 県議会ニュース

2021年8月8日 No. 75

発行 辻つねお県議事務所

福山市東町2-3-23

県庁・議会控室 TEL 082(228)6577

082(223)2034

ホームページ <http://kyodo-support.com/tuju/>

Eメール t-tsui@gikai.pref.hiroshima.jp

辻県議携帯電話 090-3632-7388

県政についての  
ご意見・ご要望をお寄せ下さい

辻議員は、「小規模や個人の事業所において感染者が出た場合、数週間の休業を強いられることがネックで、なかなか検査を受けられない」という

実態がある。事業所への

今後の課題です。

### PCR検査拡大のためにも

何らかの補償を検討すべ

きだ」と訴え。

担当課長は「国保の傷

病手当や今ある制度を活用してほしい」と答えま



護岸と道路が陥没した東広島市・三津大川の現地調査=7月9日